

【報道関係者各位】

2024年6月吉日

くらしの植物苑 特別企画
季節の伝統植物



伝統の朝顔



2024年
8月7日(水)～9月8日(日)
早朝開苑日 8月12日(月)～8月18日(日)

国立歴史民俗博物館
くらしの植物苑
(千葉県佐倉市)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当館の運営等につきまして、格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、当館くらしの植物苑におきまして、2024年8月7日(水)～9月8日(日)の期間、特別企画 季節の伝統植物「伝統の朝顔」を開催します。

夏の風物詩としておなじみの朝顔。当苑では、江戸時代以降に作り出されてきた、朝顔とは思えない変わった花形や葉形の「変化朝顔(へんかあさがお)」を、約100系統、約700鉢展示いたします。

また今年、「禹長春の幻の朝顔資料」をテーマに、禹長春(うながはる)という人物の業績とともに、彼の朝顔研究資料についてパネルで紹介いたします。

江戸時代から楽しまれてきた「えっ！これが朝顔？」と思える変化朝顔の世界をご堪能ください。

つきましては、この展示開催を貴媒体にてぜひ多くの方々にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

謹白

「伝統の朝顔」展示解説会のご案内

8月7日(水) 11:00～くらしの植物苑にて開催

当展示プロジェクト委員による展示解説を行います。事前予約等は必要ございません。
お名刺をご持参の上、受付で腕章をお受け取りになり、ご入苑ください。

詳細につきましては下記【このリリースに関するお問い合わせ】までご連絡ください。
※関連イベントが変更・中止される場合があります。最新の情報は、ホームページ等でご確認ください。

【このリリースに関するお問い合わせ】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 広報課 広報・普及係 石渡・室橋・高木
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117

TEL 043-486-6488(直通), FAX 043-486-4482, E-mail: koho@ml.rekihaku.ac.jp

れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp> (※週2回更新、最新情報はこちらをご覧ください)

※内容は変更する場合があります。ご了承ください。

趣 旨

朝顔は古くから多くの人々に親しまれてきました。特に江戸時代以降、文化・文政期、嘉永・安政期、明治・大正期など、繰り返し朝顔ブームが訪れ、変化朝顔とよばれる、朝顔に見えないような多様な形の花と葉を持つ朝顔が創り出されてきました。特に、朝顔は一年草であるにも関わらず、種子を結ばない変異も種子によって維持してきたことは世界的に見ても特異なもので、幕末の嘉永・安政期にはきわめて多くの品種が創り出されていたようです。

しかし、大正期以降、現在でも広く栽培されている大輪朝顔の栽培が盛んになる一方、変化朝顔の愛好家は次第に減少し、第二次世界大戦後の変化朝顔はわずか数名の愛好家によって維持される状況になりました。幸いなことに、江戸期に起源を持つ変化朝顔の変異の多くは、愛好家や研究者の努力によって現在まで維持されているのです。そこで、江戸時代以降の独創的な知識と技術を駆使してつくり上げられた伝統の朝顔を広く知っていただき、人と植物との関わりを見るべく、当苑では1999年以降、歴史資料としてこれらの朝顔を展示してきました。

今回は、「禹長春の幻の朝顔資料」をテーマに、育種学者・遺伝学者である禹長春^{うながはる}という人物の業績、および、彼が研究した朝顔の資料についてパネルで紹介いたします。

また、くらしの植物苑内で栽培した鉢植えの朝顔を、ビニルハウス、東屋、よしず展示場で展示します。

主な展示内容

- 変化朝顔 正木系 40 系統、出物系 25 系統
- 明治時代以降の大輪朝顔 25 系統程度
- ヨーロッパ・北米産の近縁の朝顔 10 系統程度

計約 100 系統、約 700 鉢を展示

※生育状況により出展数は変わる場合があります。

★公的機関としては日本最大規模です！

豆知識 - 変化朝顔の名称 -

江戸時代に育まれた園芸植物の中で、変化朝顔には特異な名称がつけられています。第一次ブーム（文化・文政期）の番付表にはその走りが見られますが、第二次ブーム（嘉永・安政期）に基本ができあがります。それは葉の色、模様・質・形、莖の形、花の色・模様・花弁・咲き方・花弁の重ねを順番に記述し、必要に応じて付加してゆく命名法で、現在の遺伝学から見ても非常に理にかなったものです。

たとえば「青水晶斑入弱渦柳葉淡藤爪覆輪采咲牡丹」を見てみましょう。まず始めに、葉についての記述です。青（葉の色）・水晶斑入（模様）・弱渦（質）・柳葉（形）に分解できますが、これは青葉の水晶斑入で、「渦」と「柳」の突然変異が入った葉であることを示しています。次に、花についての記述です。葉の記述と同様に、淡藤（花の色）・爪覆輪（模様）・采咲牡丹（咲き方）に分解できますが、淡藤の地に覆輪が入った花色で、撫子のような花弁で、采咲という細かく切れた咲き方であることを示しています。



左：青水晶斑入弱渦柳葉
右：青水晶斑入弱渦葉（葉）



淡藤爪覆輪采咲牡丹（花）

概要

※内容は変更になる場合があります。

企画名称	くらしの植物苑特別企画 季節の伝統植物 「伝統の朝顔」
主催	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
会場	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117
開催期間	2024年8月7日(水)～9月8日(日)
休苑日	8月19日(月)・26日(月)・9月2日(月)・3日(火)
開苑時間	9:30～16:30(入苑は16:00まで) ※開花の特性上、午前中の早い時間が見ごろです。 なお、 8月12日(月)～18日(日)は8:30から開苑いたします。
料金	個人100円、団体50円 ※高校生以下は入苑無料です。 ※団体は20名以上です。 ※障がい者手帳等保持者は手帳等提示により、介助者と共に入苑無料。 ※博物館の総合展示は別途料金がかかります。 ※博物館の半券の提示で、当日に限りくらしの植物苑にご入場できます。 また、植物苑の半券の提示で、当日に限り博物館の入館料が割引になります。
お問い合わせ	ハローダイヤル 050-5541-8600
公式サイト	https://www.rekihaku.ac.jp

国立歴史民俗博物館

くらしの植物苑 (佐倉中学校となり)

くらしの植物苑は、生活文化を支えてきた植物を系統的に植栽し、その理解をより深めることを目的として、博物館の南東に位置する旧佐倉城の一面に開設された自然を生かした植物苑です。特別企画に加え、「くらしの植物苑観察会」なども開催しています。



広報画像の提供について

ご希望の写真を送付いたしますので、プレスリリースの画像番号をご連絡ください。
画像 (JPEG) はメールで送信いたします。
問い合わせ先はリリース本文【このリリースに関するお問い合わせ】をご覧ください。

<広報画像使用に際しての注意事項>

- 本展広報目的でのご使用に限ります。(展示期間終了まで)
- 展覧会名、会期、会場名、掲載図版のキャプションを必ず掲載してください。
- 資料画像は全図で使用してください。文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。部分使用については事前申請・許諾が必要です。
- Web上に掲載する場合は、72dpi以下の解像度にしてください。
- 転載、再放送など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- 基本情報、図版使用の確認のため、校正紙 (Web上の場合は掲載URL) をお送りください。
- 掲載、放送後は必ず、掲載誌 (掲載面PDF)、同録テープを、1部お送り願います。

広報画像リストは次のページをご確認ください。

<p>1) 展示風景 (東屋)</p> 	<p>2) 展示風景 (ハウス)</p> 	
<p>3) 朝顔水盤展示</p> 	<p>4) 黄斑入蟬葉浅葱丸咲大輪 (日本晴)</p> 	<p>5) 青打込桔梗渦葉短毛淡藤切咲牡丹</p> 
<p>6) 青斑入握爪龍葉淡藤鼠色風鈴獅子咲牡丹</p> 	<p>7) 黄尾長立田葉紅筒白切咲</p> 	<p>8) 青打込弱渦柳葉青紫糸覆輪桔梗咲牡丹</p> 
<p>9) 青蜻蛉丸笹葉紅覆輪切咲牡丹</p> 	<p>10) 青斑入海松葉茶覆輪細切採咲牡丹</p> 	<p>11) 青桔梗渦葉短毛青紫糸覆輪桔梗咲八重</p> 

関連イベントのご案内

【くらしの植物苑観察会】

第 305 回「禹長春の幻の朝顔資料」 講師 仁田坂 英二 (九州大学大学院)

日 時 8月24日 (土) 13:30~15:30

場 所 歴博講堂